

## 大学生における体温測定の実況と影響因子について

### 1. 臨床研究について

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、平成 30 年 3 月 31 日までです。

### 2. 研究の目的や意義について

体温測定は日々の生活での健康維持に密着しており、測定方法の習得には環境が大きく影響します。一般的に、家族の中で子の体温測定をする頻度が高いのは母親です。そこで本調査では母子に焦点をあてて、体温測定法習得と母子関係との影響について検討いたします。

### 3. 研究の対象者について

平成 26 年 4 月 18 日～平成 27 年 3 月 31 日福岡大学の倫理審査委員会承認期間中に福岡大学の学生を対象に調査を行いました。研究責任者川田が平成 27 年 1 月より本学に異動いたしましたため、当部門看護学分野においてデータの分析と成果発表を行います。既存データの分析研究が本学で許可される期間は平成 30 年 3 月 31 日までです。

### 4. 研究の方法について

本データは統計分析ソフトウェア「IBM SPSS Statistics ver.22.0」ファイルの形式で保管しており、本ソフトウェアを使用して統計学的に分析を行います。

### 5. 個人情報の取扱いについて

研究に関する情報や個人情報については、福岡大学の倫理審査委員会及び九州大学医系地区部局倫理審査委員会の承認を受けており、個人が特定できる情報が外部に漏出することは一切ありません。研究開始前の倫理委員会承認事項に基づき、回収した研究参加同意書及びすべての調査票は既にシュレッダーにて破棄しております。全てのデータは匿名で調査項目を数値化して入力した電子データとなっており、パスワードロック付き USB メモリー内に保存しておりますので、本研究対象者に不利益を与える可能性は一切ありません。

### 6. 試料や情報の保管等について

電子データの入ったパスワードロック付き USB メモリーは、現在、研究責任者の施錠できる室内の鍵付き書棚に保管しており、また室内から持ち出すことはありません。研究終了後は、九州大学大学院医学研究院保健学分野において准教授川田紀美子の責任の下 10 年間保存し、その後全てのデータを消去いたします。将来、本データを用いた新たな研究を

実施する場合には、再度研究計画を倫理審査委員会に申請し、承認された後に本データを使用いたします。

#### 7. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、本研究に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方はご連絡ください。

#### 8. 研究の実施体制について

本研究は川田紀美子個人が行う研究です。この研究に関してご質問や相談等ある場合は川田までご連絡ください。

九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野  
広域生涯看護学 准教授 川田 紀美子  
Tel : 092-642-6742  
E-mail : k-kawata@hs.med.kyushu-u.ac.jp